

《新発電所長が就任いたしました》

女川原子力発電所長の八重樫武良が6月28日付で退任^{*}し、後任として、^{ときた まさたか} 鴛田真孝（前火力原子力本部原子力部付東北発電工業株式会社出向）が就任しました。



このたび、女川原子力発電所長に就任いたしました鴛田真孝です。女川の勤務は4回目となります。

当発電所は現在停止しておりますが、設備の監視・点検や各種訓練を通じて安全維持に努めるとともに、地震・津波や重大事故等に対する安全性向上対策に取り組んでいます。

発電所を運営するうえで大切なことは、「安全・品質の徹底」「現場力・人間力・元気力を基本とした安全性の向上」「地域の皆さまから信頼され、ご安心いただくこと」だと考えております。

今後とも所員一同、心をひとつに合わせ、誠心誠意安全対策を全力で進めてまいりますので、どうぞよろしくお祈りいたします。

^{*}八重樫前所長は6月29日付で「一般社団法人原子力安全推進協会理事」に就任しました。

《新火力原子力本部副本部長女川駐在地域統括が就任いたしました》

火力原子力本部副本部長女川駐在地域統括の田山直樹が6月28日付で退任^{*}し、後任として、^{もりのりゆき} 森則之（前火力原子力本部電源立地部部長）が就任しました。



このたび、火力原子力本部副本部長女川駐在地域統括に就任いたしました森則之です。女川の勤務は初めてとなります。

地域総合事務所は、女川原子力発電所の組織であり、地域の方々に訪問させていただき様々な情報提供を行っております。例えば、年2回実施しております「こんにちは訪問」や年末に開催しております「クリスマスドリーム」、小中学生を対象としたエネルギー教室などを実施しています。

発電所を運営していくうえで、地域の皆さまとの対話活動がとても重要と考えており、地域の皆さまに信頼される発電所を目指し、今後とも所員一同、全力で取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお祈りいたします。

^{*}田山前地域統括は6月17日付で「東北発電工業株式会社常務取締役」に就任しました。

《ローズガーデンフェアを開催しました》

女川原子力PRセンターにおいて、6月1日から30日までローズガーデンフェアを開催しました。センター内の「スイートガーデン」では、県内でも有数の約70種類ものバラが植えられており、「しあわせのバラのトンネル」など今年も見事な花を咲かせました。



しあわせのバラのトンネル

同フェアの期間中には、バラを背景に撮影した写真のプレゼントやミニバラを使った寄せ植え教室、押し花教室を開催しました。



「ミニバラを使った寄せ植え教室」の様子

「スイートガーデン」では、年間を通じていろいろな花を楽しめます。また、今年3月には、女川原子力PRセンター1階の展示コーナーをリニューアルしておりますので、ぜひ足をお運びください。

女川原子力PRセンターからのお知らせ 「第15回 東北電力図画コンクール」募集スタート!

当発電所では、未来を担う子どもたちの「想像力」と「考える力」を育み、個性や才能を伸ばすお手伝いをしたいとの思いから、毎年、小学生以下の皆さんを対象とした図画コンクールを開催しています。昨年は過去最高の5,250点もの作品をお寄せいただきました。今年も以下のとおり図画コンクールを開催いたしますので、たくさんのご応募をお待ちしております。

テーマ 想像の海の生きものたち 「海にいたらいいな」と思う生き物を描こう!

募集期間 7月21日(木)～8月31日(水) **対象** 小学生以下の皆さん

表彰 最優秀賞/1名、優秀賞/7名、各審査委員特別賞/9名、奨励賞/20名
※ご応募いただいた全員にオリジナル記念品を贈呈いたします。

用紙 A4(210mm×297mm)の画用紙に描いてください。

注意事項 一人1作品の応募とし、未発表作品に限ります。・絵の具、クレパス、色鉛筆、油彩、貼り絵などで描いてください。
・貝殻などの立体物を貼り付けたり、コピー、切り抜き、パソコンによる編集等の作品は選考対象外になります。
・応募された作品の著作権は、主催者に帰属するものとします。・応募作品の返却はいたしません。

お問い合わせ先 女川原子力PRセンター内「東北電力図画コンクール」事務局 TEL/0225-53-3410
〒986-2221 牡鹿郡女川町塚浜字前田123 開館時間/9:30～16:30(7月19日(火)、8月15日(月)は休館)



《原子力発電所におけるケーブルの不適切な敷設に関する原子力規制委員会からの評価結果について》

平成28年6月29日、原子力規制委員会より、女川原子力発電所におけるケーブルの不適切な敷設に関する保安規定の遵守状況について、保安規定第3条（品質保証計画）※1の履行が十分でないとして、保安規定違反※2（違反2）の判定を受けました。

ケーブルの不適切な敷設が確認された箇所につきましては、既に適切な方法で是正しており、引き続き、原因等を踏まえた再発防止対策を講じてまいります。

当社といたしましては、このたびの原子力規制委員会の評価・指摘を真摯に受け止め、再発防止対策に確実に取り組むことにより、業務品質のさらなる向上を図り、原子力発電所の安全確保に万全を期してまいります。

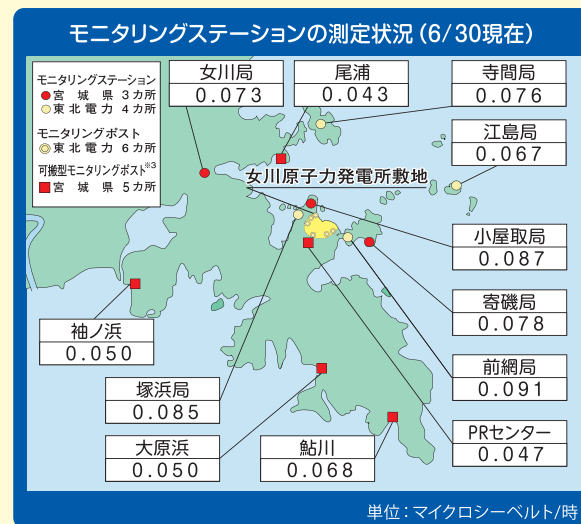
※1：今回の判定では、保安規定第3条（品質保証計画）のうち、「業務・原子力施設に対する要求事項の明確化」「調達プロセス」「調達要求事項」および「調達製品の検証」の履行が十分でないとしたもの。

※2：保安規定は、当社が原子力発電所を安全に運転・管理するために遵守すべき事項を規定しているもので、保安規定違反は、原子力安全に及ぼす影響の大きい順に「違反1」「違反2」「違反3」「監視」の4段階に区分される。

《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの現在の測定値は、最大で0.060マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



〈東北地方太平洋沖地震発生日〉	平成23年3月11日	0.027~0.064
〈地震発生後最大値〉	平成23年3月13日	1.8~21※4
〈地震発生以降毎年度(4/1)の値と至近値〉	平成24年4月1日	0.063~0.098
	平成25年4月1日	0.055~0.076
	平成26年4月1日	0.046~0.065
	平成27年4月1日	0.043~0.077
	平成28年4月1日	0.041~0.061
	平成28年6月1日	0.041~0.060
	平成28年6月30日	0.039~0.060

単位：マイクロシーベルト/時

- ※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されており、その最小値と最大値について、東北地方太平洋沖地震の発生日の値、それ以降で最大値が測定された日（平成23年3月13日）の値、毎年度（4月1日）の値、至近の値を掲載しています。
- ※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。
- ※3 宮城県では、震災により測定不能となっているモニタリングステーションの代替として、可搬型モニタリングポストによる測定を行っています。
- ※4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。

新規制基準適合性審査状況のお知らせ(6月末現在、審査会合75回開催)

《基準地震動の策定（震源を特定せず策定する地震動）について》

女川原子力発電所2号機の適合性審査では、基準地震動の策定のうち、「震源を特定せず策定する地震動※1」について審議されています。(平成28年6月3日)

「震源を特定せず策定する地震動」について、適合性審査申請時から、最新知見の収集・整理を行いながら継続して検討を進めることとしておりましたが、「震源を特定せず策定する地震動」として、「2004年北海道留萌支庁南部地震(留萌地震)」を考慮することについて説明しました。

この地震動は、基準地震動Ss-1(640ガル)およびSs-2(1,000ガル)を一部の周期帯で上回るものです。本審査項目については、考慮する地震の考え方の説明を求められたことから、今後の審査において説明していきます。

なお、女川原子力発電所は、適合性審査申請時の基準地震動に対して裕度を持たせた耐震工事を進めているため、今回の追加評価による発電所の設備への影響はないものと考えておりますが、今後、詳細な評価を実施することとしております。

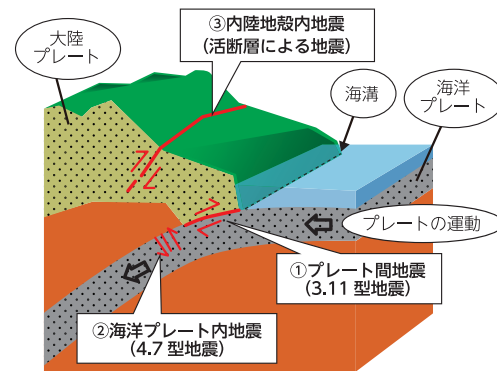
※1 震源と活断層を関連付けることが困難な、過去の内陸地殻内の地震による地震動。

地震動の評価概要 注：表中の加速度は、すべて水平方向の加速度

		適合性審査申請時の評価		追加検討の状況		審査の状況
震源を特定して策定する地震動	①プレート間地震	2011年東北地方太平洋沖型地震(3.11型地震)を考慮	基準地震動Ss-1 640ガル	左記地震について断層モデルによる評価を実施	基準地震動Ss-1 640ガル 新たな地震動 (3/4公表済み) 717ガル	審議中
	②海洋プレート内地震	2011年4月7日宮城県沖型地震(4.7型地震)を考慮		左記地震についてより厳しい条件で追加評価	基準地震動Ss-2 1,000ガル 新たな地震動 検討中※2	審議中
	③内陸地殻内地震	F-6断層~F-9断層による地震を考慮	基準地震動Ss-2 1,000ガル	左記地震および仙台湾の断層群による地震を考慮	基準地震動Ss-2 1,000ガル	おおむね妥当な検討がなされていると評価
震源を特定せず策定する地震動		従来知見(450ガル)		留萌地震を考慮	新たな地震動 (4/21公表済み) 620ガル	審議中

※2 今後、追加評価に基づく新たな地震動の設定について検討していく

地震の発生様式イメージ



審査会合の詳細は当社ホームページをご覧ください。



地震動応答スペクトル (水平方向)

